# Shodai365

Okayama Shoka University

学報2010/6月号
Vol.96
岡山商科大学学報
2010年(平成22年)6月30日発行

## CONTENTS

〈商大トピック〉
●元バレーボール選手川合氏講演　●留学生歓迎会開催　●地域再生シンポジウム開催
〈アジアリポート〉
●アジア研究同好会発足　●孔子学院文化図書展開催
〈キャリアセンター便り〉
●2009年度就職状況について　●インターンシップ募集中!

# 「商大トピック」

## Topic 1

### 川合俊一氏を招き「就職セミナー」開催

厳しい雇用情勢の中、就職活動に対する学生のモチベーションの向上と直接企業と接する機会を提供し、学生の就職活動のスタートを支援することを目的として「就職セミナー」及び「学内合同就職説明会」を開催しました。セミナーではバレーボール元日本代表で現在タレントとして活躍されている川合俊一氏を2月3日(水)に講師としてお招きし、学生時代、社会人時代、そして現在のタレント及び会社の経営者としての様々な経験から、これから社会へ出る学生に対し、「だめで元々」「何事も積極的に行動すること」「人脈を広げること」「厳しい時代であるからこそ、乗り切ればチャンスであること」等々の学生を元気づける話をしていただきました。セミナー終了時には、全員起立し、学生代表の大きな声で「がんばるぞ!」と発声し、大いに盛り上がりをみせました。

就職説明会では企業79社、学生193名が参加し、学生はセミナーの勢いのまま、積極的に各企業ブースを訪問し、熱心に人事担当者の話を聞いていました。この説明会が縁で、毎年多くの学生が内定を得ていることからも、来春卒業予定の学生にとっては貴重な機会となったようです。

※今回の企画は日本商工会議所委託事業として開催しました。　(キャリアセンター)

## Topic 2

### 卒業式・卒業記念パーティー

3月22日(月)、第42回卒業式を挙行しました。学部では商学部243名、法経学部3名、法学部59名、経済学部79名の計384名、大学院では商学研究科11名、法学研究科3名、経済学研究科3名の計17名が4年間、勉学に励み、友人達と交流を深めた母校をこれからの大きな期待を胸に旅立っていきました。また午後からは、卒業記念パーティーが学生会館で開催されました。食べ物や飲み物を片手に友人達や勉強を教わった恩師の先生達と思い出話は尽きず、またこれから歩んでいく社会での夢も語り合っていました。　(総務企画課)

## Topic 3

### 入学式

中庭の桜が満開に花開いた4月3日(土)、入学宣誓式が挙行されました。今年度入学したのは経営学部242名、法学部83名、経済学部96名、2年次編入1名、3年次編入生108名、留学生別科生17名、大学院研究科30名の合計577名です。新入生達は大学と共に、大きく成長してほしいものです。また、入学式後には各学部に分かれ、オリエンテーションが行われました。

(総務企画課)

## Topic 4

### 2010年度　新入学特待生認定証書授与式について

4月5日(月)、岡山商科大学井尻記念館4階にて平成22年度岡山商科大学特待生認定証書授与式が厳粛に挙行されました。

今年度は法学部法学科より18名、経済学部経済学科8名、経営学部経営学科17名、経営学部商学科9名、計52名の新入生を新たに特待生奨学生として本学に迎えました。

学科別に1人ひとりの名前が呼ばれた後、井尻学長より認定証書が朗読され各学科の代表者(小林桃子さん[法学科]、矢野健太さん[経済学科]、立花諒子さん[経営学科]、津田浩範さん[商学科])にそれぞれ授与されました。また、新入生特待生に向けてこれからの学生生活を有意義なものになるよう勉学に励み、サークル活動などにも積極的に取り組んでくださいと激励の言葉を述べられました。

在学中の特待生からは4名(三宅真里菜さん[商学科4年]、山木萌さん[法学科4年]、三好康太さん[経済学科4年]、三嶋留美子さん[商学科2年])を代表し、三宅真理菜さんが祝福のことばを述べ、新入生特待生を激励しました。

終わりに新入生特待生を代表し経営学部経営学科の立花諒子さんがお礼の言葉を述べ、井尻学長をはじめ先輩特待生に対し感謝の気持ちとこれからの大学生活が充実したものになるよう勉学やサークル活動などに一生懸命励んでいきますと特待生としての抱負を述べました。

(教学部学生課)

## Topic 5

### 2010年度経営学特殊講義開講
### ～「永続」と「多店舗展開」の経営～

(社)岡山経済同友会のボランティアプロフェッサー制度による経営学特殊講義が、平成22年4月から15年目として開講しています。

2010年度前期はテーマを「永続の経営」とし、企業データベースで県内の設立・創業年の古い企業を検索し、今までにご登壇いただいたことのない企業を中心に構成しました。前期の企業は、ナカシマホールディングス(株)代表取締役社長 中島基善 氏、(株)廣榮堂 代表取締役社長 武田浩一 氏、(株)フジワラテクノアート 取締役 近藤博之 氏、下津井電鉄(株)代表取締役社長 永山久人 氏、小玉促成青果(株)代表取締役社長 小玉康仁 氏、尾崎商事(株)代表取締役社長 尾崎茂 氏です。

後期は、「多店舗展開の経営」として、(株)トマト銀行、(株)山陽マルナカ、(株)ザグザグ、赤帽岡山県軽自動車運送協同組合、日本マクドナルド(株)、はるやま商事(株)を予定しています。

2010年度から、経営学特殊講義は事業「『岡山オルガノン』の構築」のライブ配信科目として、県内の連携15大学に配信できる体制を整えました。前期は岡山大学、くらしき作陽大学の学生が履修登録し、臨場感あふれるライブ配信を受講しています。

(経営学部・教授・大﨑紘一)

## Topic 6

### 「平成22年全日本柔道選手権大会」に参加して

4月29日(木)、日本武道館で行われた「平成22年全日本柔道選手権大会」に出場しました。中国地区予選を2位で勝ち上がり、3年連続、4度目の日本武道館の畳に上がることが出来ました。

今回は大会の第1試合目でした。会場全体が注目する中、試合をすることができました。過去の出場とはまた違った雰囲気の中で試合は、貴重な経験になりました。

なんとか初戦突破を目標にと試合に臨みましたが、結果は一本負けでした。昨年よりも攻めることができましたが、力及ばず跳ね返されてしまい、実力不足を痛感しました。

これからも努力を重ね、実力をつけて、勝利を目指し全日本選手権大会に挑戦していきたいと思います。

終りになりましたが、全日本選手権出場に当たり、多くの方々から多大なるご声援をいただきました。心から御礼を申し上げますとともに、今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。

(図書課　菊川　顕)

## Topic 7

### 佐々木雅幸 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授をお招きし、シンポジウムを開催～

「地域再生支援センター」は、本学が法学部、経済学部、商学部(現在は経営学部)の3学部体制となった2005年4月に設立されました。本学が新体制となったことを契機に地域貢献を目的として、地域の構成メンバーである自治体や企業、地域住民の皆様の地域づくりを支援しています。センターの主要事業は3事業あります。第1に、政策提言事業。現在、モデル事業として、岡山県新庄村と協定を結び、同村に対する徹底した調査を基に、政策提言などを実施しています。第2に、人材育成事業。ここでは、行政関係者や地域住民、研究者などを対象に、今回紹介するシンポジウムやセミナー開催などを行っています。第3に、自治体や地域住民からの受託調査事業。ここでは、岡山市や津山市、赤磐市、和気町などから行財政改革の支援要請を受けており、助言や提言などを行っています。

このたびで5回目となります「地域再生シンポジウム」は、岡山自治体学会との共催で、2010年3月6日(土)に本学の781教室で開催されました。参加者は県内の市町村の首長をはじめ、行政関係者や議会関係者、NPOや企業関係者、地域住民、そして大学の研究者など約80人でした。当日は雨天の悪天候の中、しかも議会の開催や大学の春季休暇中などの時期にあたり、参加しにくい状況でありましたが、これだけの人数の参加がありましたことにまず感謝いたします。特に、鳥取県の倉吉市長がご多忙の中、市役所幹部の方と来ていただきましたことには、大変感激いたしました。

今回のシンポジウムのテーマは「創造ネットワークが地域を変える」であります。詳細については別の機会に譲りますが、ここではシンポジウムの趣旨などを簡単に紹介させていただきます。2009年、我が国は本格的な「政権交代」を実現し、新たな「国のかたち」の模索を始めました。その国家理念は「地域主権国家」です。国家の土台として地域を重視する方向を打ち出したわけですが、その具体的中身や実現へのプロセスは依然として不明確なままです。我々が暮らす岡山においても岡山市の政令市移行などの大きな変化がありましたが、政令市移行のインパクトは、あまり実感されていません。本シンポジウムにおいては、今後の地方都市のあり方を「ネットワークによるまちづくり」の視点で検討して、国が具体的なビジョンを示せない現状の中で、地域発の発展戦略を展望しました。佐々木雅幸大阪市立大学大学院創造都市研究科教授の基調講演「地域発展戦略としての創造都市論」では、世界で注目される欧米などの発展都市を分析した上で、これらの都市に共通するのは都市独自の歴史や伝統などを生かす文化戦略を持っており、その戦略の土台には市民レベルで日常的に交流できる「場」のネットワークが存在していると総括されました。パネルディスカッションでは、坂本忠次岡山大学名誉教授のコーディネーターにより、岡山市役所の局長や岡山市、倉敷市のまちづくりのリーダー、そして筆者の4人の論者が活発に意見交換を行いました。地域再生支援センターは、このシンポジウムで確認された方向性を基礎にその実現を目指して、今後も活動を続けていきます。

(地域再生支援センター長・経済学部教授　多田憲一郎)

Topic 8

## 「岡山オルガノン」の取り組み
### ～ライブ科目の配信と地域活性化～

「『岡山オルガノン』の構築」は、平成21年度「文部科学省大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に採択された県内15大学による連携事業です。

本学は岡山商科大学オフィスを設置し、「双方向コンテンツ委員会」及び「地域活性化委員会」を所掌しています。

双方向コンテンツ委員会では、昨年9月から、県内15大学でテレビ会議システムを利用したライブ配信講義を行うため、連携大学間で機器の設置運用やライブ配信科目の提供について検討を重ねてきました。平成22年度は、本学の「経営学特殊講義Ⅰ・Ⅱ」、川崎医科大学の「基礎環境医学」、倉敷芸術科学大学の「倉敷まちづくり基礎論・実践論」が実施されています。

地域活性化委員会では、これまで各連携大学の岡山県内の地域研究についての情報収集を行うと共に、環境イベント「エコナイト」の実施について検討してきました。本年7月7日には、エコナイト（本誌エコナイト欄参照）を、同10月2日（土）には各大学の地域研究を行う研究者と“まちづくり”に取り組む実務家とを交え、地域活性化をテーマとしたシンポジウムを開催する予定です。

（オフィス室長・大﨑紘一）

Topic 9

## 「大学コンソーシアム岡山」
### ～会長に本学井尻学長が就任～

平成22年3月15日（月）に開かれた「第9回 大学コンソーシアム岡山 代表者会議」において、本学学長が第3期（平成22年4月～平成24年3月）の会長として内定し、平成22年4月1日から就任しました。それにあわせ、大学コンソーシアム岡山事務局が本学に移転しています。

大学コンソーシアム岡山は県内の四年制大学と一部短大などが、相互に連携することで、岡山県の教育力向上と、産学官連携の積極的推進により、人材育成やまちづくりに寄与することを目的として平成18年に設立されました。

平成22年度は、昨年度に引き続き、単位互換、吉備創生カレッジ（山陽新聞社との共同運営）、キャリア形成講座、ちゅうぎん『金融知力』講座などを中心に、事業を推進していきます。

なお、平成22年5月25日（火）に開催された「第20回 同 運営委員会」において、本学大﨑紘一副学長が運営委員長に選任され、各事業の実質的な運営に当たります。（大学コンソーシアム岡山事務局）

Topic 10

## 笠岡諸島の研究
### ～最終報告と提言書の提出について～

産学官連携センターでは、平成20年9月から、「笠岡諸島における持続可能社会を基本とした振興策の研究」というテーマで、産業及び地域資源、宿泊施設及び観光客動向、歴史・文化、地域経済を中心とした共同研究を、NPO法人かさおか島づくり海社（以下、海社）及び笠岡市と協定を結び実施してきました。

平成22年3月19日（金）に、笠岡市内において最終報告会を開催し、1年半にわたる研究の成果発表が行われました。大﨑紘一教授からは、地域資源、特にどんぐり、椿、ビワ等を活用した商品開発や北木島の石材に注目した観光スポットの創出についての提言、佐藤昭嗣教授からは、海の正倉院とも呼ぶべき貴重な文化財が笠岡諸島で見つかっていることの紹介、田中勝次教授からは、「地縁」など、6つの「ち」を結んだ振興策について、今井成男特別研究員からは、笠岡諸島がおかれている観光の現状と、離島で観光振興に成功している事例の紹介等が行われました。

本年3月30日（火）には、本学学長と研究グループが笠岡市役所を訪れ、鳴本海社理事長と高木笠岡市長に最終報告を取りまとめた提言書を提出し、笠岡市長から「島の活性化に生かしたい」と感謝の辞が述べられました。

（産学官連携センター）

Topic 11

## 観光振興論特殊講義が開講

経営学部商学科では本年度より表記の科目（前期2単位、商学科・経営学科対象）を開講しました。これは今後の産業動向の中で観光産業がますます重要視されることから、観光産業に携わる行政・関係機関及び企業の実務者、経営者の講義を受講することで観光振興、観光経営について修得を深めようとするものです。経営学部ではこれまで「経営学特殊講義」「商学特殊講義」など実践的科目を次々に開講してきましたが、本講義により第三の特殊講義が開講され、さらに充実したものになりました。

講演中の小嶋氏

今年はカリキュラムの関係で経営学部経営・商学科2年生以上に開講され、小規模（15名）のスタートでしたが、今後希望や動向により受講拡大も考慮するつもりです。これまで前半期間が過ぎて、すでに中国運輸局、岡山県産業労働部、岡山県観光連盟、岡山市観光コンベンション推進課、おかやま観光コンベンション観光協会及び商学科観光コース教員らの実践的な講義を終えることができました。これから後半には民間企業の取り組みを学びます。今年は両備グループのご協力により、グループ代表小嶋光信氏、に講義いただいた他、両備HD副社長松田久氏などの講義も予定されています。

講義は、講師を囲んでなごやかな雰囲気ですが、時には講師からの難問や学生からの質問が飛び交う活発な内容です。また普段目にすることのできない様々な資料や随時提供されるパンフレット類も大きな魅力の1つです。学生諸君は是非、観光分野の実践的な新科目に挑戦してみるのはいかがでしょうか?なお、最後になりましたが本科目開講に当りまして、学内外の関係者の皆様に大変ご尽力頂きました。ここに厚くお礼申し上げます。

（経営学部商学科　教授　田中　潔）

Topic 12

## オーストラリア語学研修を終えて

今回、2月3日（水）～3月13日（土）まで約5週間オーストラリアのタスマニア大学に語学研修に行ってきました。申込をしてからずっと楽しみにしていましたが、いざ出発間近になると不安な気持ちになりました。

そんな気持ちで出発し、オーストラリアに到着すると、空港でホームステイ先の家族が来てくれており、そのまま家まで一緒に行きました。僕は全く英語を話すことができなかったので、コミュニケーションをとることができませんでした。

2日が過ぎ、いよいよ大学へ通うこととなりました。大学には日本人以外に中国人等の留学生がたくさんいました。彼らとはすぐに友達になり、タスマニアを一緒に回ることになりました。動物園や観光地を回り、クルーザーにも乗りました。日本とは異なる色々な動物を見ることができ、自然がとても綺麗でした。

帰国の1週間くらい前になると、日本人以外の外国人が送別会でバーベキューをしようと声を掛けてくれました。その日の夕方はビーチに行き、焼肉をしました。色々な国の人々と交流することが出来、とても楽しかったです。

帰国の日が近づくにつれ、とても寂しくなり、帰りたくないという思いが強くなりました。

帰国当日は、ホストファミリーが空港まで送ってくれました。別れの時には悲しくて涙が出ました。

今回の留学で、僕は数々の素晴らしい体験をすることができました。もっと英語を勉強して、できれば来年も参加したいと思います。

（法学部　法学科　2年次　二神　雄太）

Topic 13

## Welcome to Japan!ようこそ商大!

年々満開の桜のように今年も商大には大勢の留学生を迎え、キャンパスが一層賑やかになってきました。留学生の皆にとって何でも新鮮な面白い世界でしょう。その反面慣れてない言葉と異文化の違いや考え方に戸惑いながら肌で感じるかもしれません。早く学校に慣れ、大学生活を楽しんでもらいたいという思いで留学生歓迎会を行っていました。

5月26日歓迎会会場となる学生会館二階食堂には新入留学生のほか学友会のメンバーや先輩の留学生および教職員が250名以上も集まりました。

学友会会長から新入留学生たちに激励の言葉を贈り、諸先輩の留学生からの経験談と先生方々から様々なアドバイスと心強い言葉を掛けられてとても暖かい会場になっています。みんなが一緒に歌を歌って、ダンスを交じって楽しい時間を過ごしました。

歓迎会後、何人の新入留学生から「とても有意義な歓迎会でした。ありがとう」というという感謝の言葉をもらいました。これからもみんなが力を合わせて、楽しい大学生活を送りましょう。　（教学部学生課）

Topic 14

## 7/7「エコナイト」にご協力を
### ～岡山オルガノンの取り組み～

岡山オルガノン地域活性化委員会（委員長・大﨑紘一）は各大学が連携し環境活動に取り組むことで、学生と地域住民にエコへの理解を高めてもらうことを目的として、平成22年7月7日（水）に「エコナイト」を実施します。

主な取り組みは、①ライトダウン:同日午後8時、$CO_2$削減のため一斉に大学施設の照明を落とします。②マイ・カー乗るまぁday:当日は、自動車通勤を行う教職員に車の利用を控えるよう呼びかけます。③蛍光ライト点灯:化学発光によるライトを夜空に掲げるなどエコナイトをアピールする取り組みを行います。④その他、各大学でエコナイトにちなんだイベントを開催します。

同日までに、「Ecoロウソク作成講習会（岡山理科大）」、「ペガサスキャンドル廃食油ロウソク製造見学」などの取り組みを行います。

本学では、教職員の皆様に当日に向けて午後8時の「ライトダウン」と「マイ・カー乗るまぁday」の呼びかけをさせていただきますので、ご協力のほどお願いいたします。

学生の皆様には、午後7時頃から772教室でエコについてのミニ講演会、午後8時頃から中庭においてエコライトやエコキャンドルの点灯を行いますのでふるってご参加をお願いします。

（岡山オルガノン 岡山商科大学オフィス）

Topic 15

## 平成22年度 教員免許状更新講習〔選択領域2講座〕の申込を受付ています。

◆8月23日（月）
「生産マネジメント・国際経済の最新動向」
8月24日（火）
「広告論・国際会計論の最新動向」
◆定員　各30名
◆締切　6月30日（水）※定員に満たない場合は、2次募集を行います。
詳細については、本学のホームページ（http://www.osu.ac.jp/）をご覧ください。

（教学部教務課）

エッセー
数珠つなぎ

経済学部　講師　山根　明子

# 「そして岡山」

私は、高校卒業まで実家のある鳥取で過ごし、その後大学進学のため関西に行き、十年あまりを神戸・大阪で過ごしました。そして、この4月から岡山で生活することとなりました。

これまで岡山には何度か来たことがあります。一番よく覚えているのは、高校1年生の夏休み、高校生クイズの中国予選に参加するため、友達と3人で鳥取から岡山経由で広島へ行ったときのことです。当時は鳥取から岡山まで「砂丘」という急行が走っていて、学割を使えば鳥取岡山間片道3000円だったと思います。道中、『金田一少年の事件簿』を20巻くらい読みました。岡山に到着し、何か食べようと駅の建物を出たとき、山陰の太陽しか知らない私は岡山の日差しの強さに驚きました。

それから十数年が経ち、関西でしばらく過ごした後の岡山の印象として思い浮かぶことといえば、「エスカレーターで右に立とうが左に立とうが怒られない」、「バスの走行中に両替をしようとすると運転手さんに『危ないからやめてください』と怒られる」、「早朝6時からテニスをやっている人がたくさんいる」、「若年人口が多い」といったところでしょうか。若い人が多いのは、大学が集まっている地域で生活しているからかもしれませんが。

それから、身の回りに岡山に縁ある人が意外と多くいることもわかりました。つい先日、学会報告のため東京に行った際には、私の所属を見て「岡山はどうですか」と、岡山で働いていたことのある学会の偉い先生が話しかけてくださいました。他の先生方にも、「あそこは食べ物がおいしいからいいよねえ」と、うらやましがられました。

そんな岡山に来て3ヶ月、何かの縁でこの土地に来ることになったに違いなく、この土地でしっかり人生を楽しみたいと思うのです。

作家の視点

江戸川乱歩賞作家　石井敏弘
本学非常勤講師（第十七期商学部卒）

## 遷都一三〇〇年祭 ミステリークエスト

過日、五月二十四日。

奈良県に出向き、記者発表を行ってきました。平城遷都一三〇〇年祭のイベントの一環として行われる平城京ミステリークエスト。この原作小説『朱都の記憶』のお披露目のためです。

実際にはすでに先行販売されているようで、奈良県が用意した公認ガイドブックなどを購入すると、この小説は付録で付いてきます。

参加者自身が名探偵となって、小説に描かれた平城京の舞台を歩き、謎を解いて行くミステリー・イベント。これが七月二十日から十一月七日までの期間、実施されます。

この原作小説の執筆には、昨年の八月下旬、現地の奈良を訪れて取材して以来取りかかりました。比較的早い段階でインスピレーションを得、物語の骨子を決めることができたので、創作それ自体は比較的スムースでした。

とはいえ、昨年末の締め切りには、いつものように地獄を見たのですが。

大学のテキストで使っている『ノー・ソリューション』は、過去に同様なミステリー・イベントで使われた中編小説を収録したものですが、今回の奈良のお話『朱都の記憶』はクライアントからの要望で、ヒントはかなり露骨なものとなっており、おそらく誰でも解けます。といったら過言かも知れませんが、ミステリー・ファンにとっては物足りないものでしょう。

謎解きの面白さ、難しさを追求した小説ではなく、ストーリー自体の面白さと、今はほとんどが失われて存在しない平城京の魅力を存分に伝えるものとして制作された、とご理解頂ければ幸いです。

奈良に今年出向かれる方は、是非、平城京へ。

岡山商科大学産学官連携センターでは、全農岡山県本部と連携し、2009年10月にオープンした「全農おかやま直売所」（岡山市表町）にて学生の接客研修および、学生による販売方法の提案や企画等に取り組んでいます。現在は、4年生2名が「看板スタッフ」として頑張っています。

## 全農おかやま直売所での経験

法学部4年　岡﨑　貴史

私は去年の10月から、表町商店街にある「全農おかやま直売所」で週に2回、研修を受けています。

最初の時期は、レジ打ちを主な仕事としていましたが、徐々に色々な仕事を任されるようになりました。最初はどこにどの野菜を置けば、お客様に買っていただけるのか分からなかったのですが、自分が買う側だったらどうか、ということをしっかり考えて陳列をするよう指導を受け、勉強しているところです。昼休みの時間には、友人と近くにある百貨店に行き、どのように売っているのか勉強しています。最近では、スーパーに行くと、どのように陳列をしているのかを見るようになりました。

そして、今私達が取り組んでいることは、商品の販売方法の提案です。この研修事業は、「店作りに若者のアイデアを取り入れる」がテーマなので、私達にしか考えれないような企画をしなければなりません。これは非常に難しい事ですが、同時にやりがいにもなっており、試行錯誤を繰り返しています。

今、私達が一番やらなければならないことは野菜の事を知り、お客様に説明できるようになり、一人でも多くの方にまた来ようと思っていただけるようにすることと、私達のような若者目線の新しい発案をすることです。あと1年、目標ははっきりしています。あとは行動するのみです。一生懸命頑張り、少しでも売り上げに、そして、お店の知名度を上げることに貢献したいと思っています。 そして、研修が終わった時に、一回り大きくなった自分を発見出来ればと思います。

最後になりましたが、私達に温かく接してくださる直売所の方々や、このような機会を与えてくださった関係者の方々に感謝の意を表したいと思います。

# Asia Report アジアレポート

## アジア研究同好会発足!

今回は「アジア研究同好会」という本学で新しく立ち上がったサークルについて紹介します。このサークルは本学に在学していた私が2回生の頃、留学生との交流及び語学の研鑽を目的として立ち上げた同好会です。立ち上げ当初、私は中国語に大変関心があり、「中国語研究同好会」という名前で主に中国の留学生を対象にお互いの言語や文化の理解を目的として活動していました。しかし、中国の留学生のみならず韓国、台湾の留学生との関わりも深くなり東アジアの学生が集い更なるお互いの理解を深める意味を込め「アジア研究同好会」という名前で新出発を切りました。

今回、アジア研究同好会の部長である松本輝之さん(商学科4年)にどのような活動を行なっているかインタビューしてみました。

**Q現在の部員数は?**

Ⓐ日本人学生4名、中国人留学生2名、台湾人留学生3名、韓国人留学生3名の計12名で活動しています。

**Q活動時間は?**

Ⓐ毎週1回、水曜日:15:00～17:00です。

**Q活動目的・内容は?**

Ⓐ活動目的としては、日本人と留学生が両国との関わりを持つ機会を増やすために言葉や文化の理解を深めることです。活動内容は留学生を対象に日本語能力検定試験対策を行ないます。特に日本人の部員と会話を中心にコミュニケーション能力の向上を図ったり、日本語能力試験の対策問題の解説などをしています。また、日本人の部員に対しては興味のある国の言葉(韓国語や中国語など)をネイティブスピーカーの留学生の補助のもと学んでいます。また、サークルの活動以外でも親睦会を行って積極的に交流を図ったり、留学生を対象にした小旅行を行い日本の素晴らしさを学んでもらう機会を作っています。

**Q松本君自身、昨年の夏休みに中国語学研修に参加したそうですが、なぜ、中国に行ってみたいと思いましたか?また、その時の感想を聞かせてください。**

Ⓐ初めて中国(語)に魅力を感じたのは1年生の中国語の講義を履修したときでした。中国語の発音は非常に難しいですが、独特のイントネーションが面白いと感じました。また、漢字も日本語ではない「簡体字」を使うし文法も英語に似ているので語学を通して新しい発見ができることが魅力です。特に自分が学んだ表現を留学生や先生に使い、通じた時は特に嬉しかったです。2年間中国語を学んでみて自分の実力を試してみたいという気持ちと中国がどのような国なのか中国人は日本人とどのように違うのかなどを自分の目で確かめてみたいと思い語学研修に参加しました。私が行ったのは大連で行く前は文化の違いに不安を感じていましたが、日本に非常に似ている部分もあり、日本人にとっても住みやすい都市だなと感じました。

**Qサークル活動の今後の方向性は?**

Ⓐ日本と留学生が住む国の理解を深めるとともに日本人の学生がもっと海外に目を向けてもらえるように努めていきたいです。また、アジアを中心にしたサークルではありますが、世界の共通語である「英語」をみんなが学んでいける環境を整えていきたいと考えています。大学生活を通し、国際知識を身につけ就職した後も積極的に海外に飛び出せる人材を育てて行きたいです。

**Q最後にこの先松本君が行ってみたい国はどこですか?**

Ⓐまた、中国に行ってみたいですし、ベトナムやカンボジア、シンガポールなどの東南アジアにも行ってみたいと思います。

本学でもアジアビジネスコースが新たに始まり、ますますアジアに目を向け関心を寄せる学生が増える中でアジア研究同好会も積極的にアジアの素晴らしさや魅力を前面に押し出していけるよう発展してもらいたいと思います。　(学生課　佐々木皓平)

## 中国文化図書展開催

岡山商科大学孔子学院は、中国文化の普及や中国語の教育を目的とした活動をしていますが、この度、中国の教育文化などを市民の皆さんに紹介するため、奉還町「りぶら」にて3月20日(土)～28日(日)までの間、「中国文化図書展」を開催しました。初日は後援をいただいた岸奉還町商店街振興組合理事長、井尻孔子学院理事長、岡本孔子学院長によるテープカットなどのセレモニーが開催されました。会場となった1階ギャラリーには中国語教材や実用書などのほかに中国の工芸品、美術品など300点を展示。わざわざ市外から足を運んでくださる方もおられ、来場された方は実際に実用書や工芸品を手に取って、真剣に見入っていました。岡山商科大学孔子学院では、実際に中国語講座等で使用している教科書や辞書、マルチメディア教材等を展示しておりますので、興味のある方は是非本学図書館棟5階の孔子学院まで足をお運びください。

## 中国に再留学をして

アジアビジネス専攻1期生の大熊章広です。現在私は、3年生の後期から孔子学院奨学金制度を利用し、1年間、中国・大連外国語学院大学へ2度目の留学中です。

私がアジアビジネス専攻を選んだきっかけは、ある新聞の記事でした。岡山商科大学に新しくアジアビジネス専攻というコースが開設されるという内容でした。中国への留学と聞き、家族と話し合ってみると、親戚や身近に中国と関わりを持っている人が多くいることを知りました。

近年中国とアジア諸国、また世界との繋がりが急速に広がりつつあります。こう聞くと、他人事のように感じます。しかし、中国という国は、物理的な距離以上に、すぐそばまで来ています。それは経済だけに止まらず、語学や文化にも及んでいます。これらの関心が私のアジアビジネス専攻の始まりです。

1年間の留学を終えた時点で、日常生活において必要な中国語をマスターできます。私の場合、帰国後は、他の生徒達同様に商業科目中心に履修しました。しかし、「更なる中国語を身につけたい」。そう強く願っていた頃、孔子学院奨学金制度を知り、応募しました。

中国での生活ですが、毎日が貴重な体験に溢れています。外国人との交流はもちろん、学内の活動だけでなく、課外活動にも力を入れています。こうした経験が私自身を形作る大変貴重なものと信じています。

こうした留学や経験ができたのも岡山商科大学と孔子学院を始めとするたくさんの方のサポートがあってこそだと感じています。この場を借りて感謝の意を表します。万分感謝!　(商学部商学科　アジアビジネスコース　4年次　大熊章広)

# キャリアセンター便り

## 2009年度　就職活動を振り返って

2008年度の「就職売り手市場」から、「就職氷河期」と一変した2009年度。求人倍率は一般的には1.62倍(リクルートワークス調査)と下がり、本学においても求人件数も昨年度に比べ2割減と大変厳しい状況でしたが、最終的な内定率は93.6%(昨年度94.5%)となりました。これは、岡山県内の大学内定率88.1%(岡山県労働局)、全国の大学内定率91.8%(厚生労働省)に比べ、高い水準となっております。就職活動が長期化する中、3月31日に内定が決まった学生もいます。この数字は諦めずに就職活動を行うことで、学生が成長していった結果です。

今後厳しい状況は続きますが、早い段階から就職対策講座などに積極的に参加し、早くから1社でも多くの企業に接し、したい仕事、入社したいと思える企業を見つけ、将来を見据えた有意義な就職活動をしてもらいたいと願っています。

## 2010年度「3年生就職対策講座」始動!

2012年3月卒業予定となる3年生を対象とした「就職対策講座」が5月26日からいよいよ始まりました。第1回の講座では「マイナビ編集長の2012就職状況」と題して、マイナビの編集長にお越し頂き、就職活動のおおまかなスケジュール、そして企業が求める人材について説明して頂きました。参加した学生からは、「就職活動するまでにやらないといけないことを教えていただいたので、それまでに自己分析や企業のことを知って備えたいと思う」、「今までは就職に対して不安要素しかなかったが、本日の講座で少し希望がもてた」などの声が聞かれました。同講座は来年1月までの計12回開催します。また、キャリアセンターではこの他にも就職合宿や企業バスツアー、就職筆記試験対策講座など開催する予定です。

| 日　時 | 内　容 | 場　所 |
|---|---|---|
| 5月26日(水)14:40～16:10 | 第1回「マイナビ編集長の2012就職状況」 | 772教室 |
| 6月16日(水)14:40～16:10 | 第2回「自己分析と就職活動」 | 772教室 |
| 7月　7日(水)14:40～16:10 | 第3回「内定者報告会&SPI対策」 | 772教室 |
| 10月　6日(水)14:40～16:10 | 第4回「人事部長に聞く」 | 772教室 |
| 10月23日(土)10:40～16:10 | 第5回「ビジネスって面白い」から始める就職活動 | 772教室 |
| 10月27日(水)14:40～16:10 | 第6回「エントリーシート･履歴書対策」 | 772教室 |
| 11月10日(水)14:40～16:10 | 第7回「サイトからの企業研究&合説回り方のすすめ」 | 772教室 |
| 11月24日(水)14:40～16:10 | 第8回「グループディスカッション対策セミナー」 | 772教室 |
| 12月　8日(水)14:40～16:10 | 第9回「面接実践トレーニング①」 | 772教室 |
| 12月15日(水)14:40～16:10 | 第10回「面接実践トレーニング②」 | 772教室 |
| 12月22日(水)14:40～16:10 | 第11回「面接実践トレーニング③」 | 772教室 |
| 1月19日(水)14:40～16:10 | 第12回「就活直前丸ごと就職セミナー」 | 772教室 |

※上記の他にも行事を予定しています。また、他学年対象の行事等も予定しています。詳細は、本学ホームページをご覧ください。

## キャリアセンター取扱インターンシップ募集中

キャリアセンターでは本年度、4つのインターンシップ制度を募集しています。インターンシップとは企業で就業体験するもので、早い段階において業界･企業を知ることで、ミスマッチのない就職を目指すものです。毎年、本学からも多数の学生が参加し、貴重な体験をしています。

●海外インターンシップ

◉フィリピン(㈱石井表記協定事業)

プリント基板製造装置メーカー㈱石井表記(本社:広島県福山市)の関係会社でフィリピン現地法人JPN社への約2週間のインターンシップ。2006年度スタート。

◉カンボジア

日本人観光客のホテル手配･観光案内等を行う現地法人JHCアンコールツアー･シェムリアップオフィスへの約2週間のインターンシップ。2010年度スタート。

●税理士インターンシップ(中国税理士会岡山県支部連合会協定事業)

岡山県内の税理士事務所へのインターンシップ。このような税理士会と大学とのインターンシップ協定は、全国の私立大学では初めて。2007年度スタート。

●信用金庫インターンシップ(岡山県信用金庫協定事業)

岡山県内の信用金庫へのインターンシップ。2007年度スタート。

●キャンパスウェブシステム

各都道府県経営者協会等が中心となり、あらゆる業種等へのインターンシップを提供。本学ではキャリアセンターが窓口。

Information
# 情報アラカルト

## 人事異動

| 種別 | 役職等 | 氏名 | 所属 | 日付 |
|---|---|---|---|---|
| 退職 | 教授 | 西山　徹 | 法学部 | 3月31日 |
| | 教授 | 木下公明 | | |
| | 講師 | 岡田洋一 | | |
| | 教授 | 梅原嘉介 | 経済学部 | |
| | 教授 | 井上省紀 | | |
| | 教授 | 河野快晴 | | |
| | 准教授 | 森本和義 | 経営学部 | |
| | 教授 | 岡田浄二 | | |
| | 招へい准教授 | 汪　霊霊 | | |
| | 招へい准教授 | 李　燕 | | |
| | 招へい講師 | 邱　玉梅 | | |
| | 課長 | 相澤泰憲 | 図書課 | |
| | 参事 | 石野桂三 | 学生課 | |
| | 事務職員 | 納谷幸二 | 入試課 | |
| | 守衛 | 佐々木良三 | 総務企画課 | |
| | 嘱託 | 大石橋巧 | 法人事務局 | |
| | 事務職員 | 瓜生清子 | 教務課 | |
| | 嘱託職員 | 赤松美由紀 | 学生課 | |
| | 嘱託職員 | 中川尚子 | キャリアセンター課 | |
| 退任 | 法学研究科長 | 伊藤治彦 | 法学部 | |
| | 商学科長 | 田中　潔 | 経営学部 | |
| | 教学部長 | 井上倫明 | | |
| | 孔子学院長 | 岡本輝代志 | | |
| 採用 | 講師 | 新津和典 | 法学部 | 4月1日 |
| | 講師 | 小嶋寿史 | 経済学部 | |
| | 講師 | 山根明子 | | |
| | 講師 | 大東正虎 | 経営学部 | |
| | 招へい准教授 | 楊　立国 | | |
| | 招へい准教授 | 黄　健 | | |
| | 事務職員 | 韓　壮 | 学生課（留学生係） | |
| | 事務職員 | 佐々木皓平 | 学生課（学生係） | |
| | 事務職員 | 山崎温子 | 教務課 | |
| | 事務職員 | 赤松美由紀 | 入試課 | |
| | 課長 | 大上英樹 | キャリアセンター課 | |
| | 事務職員 | 中川尚子 | | |
| | 嘱託職員 | 豊田憲幸 | 総務企画課（守衛） | |
| | 嘱託職員 | 坂　和樹 | 学生課 | |
| 採用（再雇用） | 教授 | 梅原嘉介 | 経済学部 | |
| 採用（継続雇用） | 事務職員 | 相澤泰憲 | 事務局 | |
| 昇任 | 教授 | 佐藤昭嗣 | 経営学部 | |
| 新任 | 法学研究科長 | 西浦　公 | 法学部 | |
| | 商学科長 | 坂下　晃 | 経営学部 | |
| | 教学部長 | 田中　潔 | | |
| | 孔子学院長 | 南部　稔 | | |
| 移籍・昇任 | 次長 | 藤原誠二郎 | 法人事務局 | |
| 異動・昇任 | 参与 | 筒井彦安 | 教学部 | |
| 異動 | 課長 | 薬師寺祐介 | 総務企画課 | |
| 昇任 | 課長補佐 | 奥田寿生 | 図書課 | |
| | 係長 | 三浦尚子 | 総務企画課 | |
| | 係長 | 大橋俊充 | | |
| | 係長 | 岡部泰正 | キャリアセンター課 | |
| | 係長 | 横田純一 | 入試課 | |
| | 主任 | 平井則子 | 総務企画課 | |
| | 主任 | 胡　勇彬 | 学生課 | |
| 退職 | 嘱託職員 | 豊田憲幸 | 総務企画課（守衛） | 4月30日 |
| 採用 | 嘱託職員 | 高本　進 | 総務企画課（守衛） | 5月21日 |

## 新任教職員紹介

**経済学部　講師　小嶋　寿史**
神戸生まれの32歳です。神戸大学で博士（経済学）の学位を取得した後、神戸大学の研究員を経て本年度から岡山にやってまいりました。博士論文は公共経済学分野で書きましたが、専ら応用ミクロ経済学、とりわけゲーム理論を用いた理論分析にとりくんでいます。岡山商科大学でのこれからが非常に楽しみです。

**法学部　講師　新津　和典**
兵庫県に生まれる。関西学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。博士（法学）。講義担当科目は、会社法、手形・小切手法、および金融商品取引法。目下の研究テーマは、株式会社法および商法。比較法としては、ドイツ法、オーストリア法、ヨーロッパ（EU）法、およびアメリカ法。趣味は、音楽鑑賞や散歩など。

**経済学部　講師　大東　正虎**
関西大学大学院にて博士（社会学）の学位を取得。関西大学ソシオネットワーク戦略研究センター、リサーチ・アシスタントを経て、今年度より本学に着任いたしました。担当科目は、情報処理概論I・II、基礎演習、教養演習です。最近は運動することを心がけており、本学の周辺をよく散歩しています。

**経済学部　講師　山根　明子**
鳥取県出身。大阪大学大学院博士課程に在学後、今年から本学で教鞭をとることになりました。「金融政策」「金融工学入門」などの科目を担当しています。本学教職員の皆様と共に、研究・教育に励んでいきたいと思っております。

**経営学部　招へい准教授　楊　立国**
2005年3月、九州大学比較社会文化学府卒業、博士。卒業後、帰国して、大連外国語学院日本語学部に入り、日本語や日本経済などを教えました。現在、孔子学院を主担当とし、中国語を教えています。専攻は経済理論、日本経済、中国経済。

**経営学部　招へい准教授　黄　健**
中国黒竜江大学大学院日本語・日本文学研究科卒業。文学修士。大連外国語学院大学日本語学院。商大では学部生の初級中国語や留学生別科の日本語読解や孔子学院の中国語講座などの授業を担当しております。これからの一年間、商大の一員として頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

**キャリアセンター課　課長　大上　英樹**

**教学部学生課　事務職員　佐々木　皓平**

**教学部教務課　事務職員　山崎　温子**

## 計算書類（岡山商科大学収支内訳表）

### 資金収支内訳表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

■収入の部　（単位:千円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金収入 | 1,709,070 | 1,694,099 | 14,971 |
| 手数料収入 | 21,406 | 23,847 | △ 2,441 |
| 寄付金収入 | 18,290 | 15,825 | 2,465 |
| 補助金収入 | 135,247 | 165,834 | △ 30,587 |
| 資産運用収入 | 7,295 | 9,817 | △ 2,522 |
| 事業収入 | 17,081 | 30,320 | △ 13,239 |
| 雑収入 | 68,478 | 82,828 | △ 14,350 |
| 収入の部　合計 | 1,976,867 | 2,022,570 | △ 45,703 |

■支出の部　（単位:千円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費支出 | 1,169,299 | 1,132,664 | 36,635 |
| 教育研究経費支出 | 412,022 | 370,684 | 41,338 |
| 管理経費支出 | 128,010 | 114,939 | 13,071 |
| 借入金等利息支出 | 4,279 | 4,278 | 1 |
| 借入金等返済支出 | 39,620 | 39,630 | △ 10 |
| 施設関係支出 | 8,300 | 7,688 | 612 |
| 設備関係支出 | 46,538 | 45,118 | 1,420 |
| 支出の部　合計 | 1,808,068 | 1,715,001 | 93,067 |

### 消費収支内訳表

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

■消費収入の部　（単位:千円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 学生生徒等納付金 | 1,709,070 | 1,694,099 | 14,971 |
| 手数料 | 21,406 | 23,847 | △ 2,441 |
| 寄付金 | 18,290 | 16,494 | 1,796 |
| 補助金 | 135,247 | 165,834 | △ 30,587 |
| 資産運用収入 | 7,295 | 9,817 | △ 2,522 |
| 事業収入 | 17,081 | 30,320 | △ 13,239 |
| 雑収入 | 68,478 | 84,249 | △ 15,771 |
| 帰属収入合計 | 1,976,867 | 2,024,660 | △ 47,793 |
| 基本金組入額合計 | △ 5,000 | △ 51,209 | 46,209 |
| 消費収入の部　合計 | 1,971,867 | 1,973,451 | △ 1,584 |

■消費支出の部　（単位:千円）

| 科目 | 予算 | 決算 | 差異 |
|---|---|---|---|
| 人件費 | 1,145,867 | 1,121,698 | 24,169 |
| 教育研究経費 | 530,991 | 491,331 | 39,660 |
| 管理経費 | 143,866 | 129,808 | 14,058 |
| 借入金等利息 | 4,279 | 4,278 | 1 |
| 資産処分差額 | 5,000 | 907 | 4,093 |
| 消費支出の部　合計 | 1,830,003 | 1,748,022 | 81,981 |

Information
# 情報アラカルト

## 2010年度前期「夕学講座」開催予定一覧

『夕学五十講』は、「時代の"潮流と深層"を読み解く」をコンセプトに、大学人をはじめ企業人・文化人・ジャーナリスト等、各分野の第一線で活躍する方々を講師に招き、東京・丸の内で開催する定例講演会です。慶應義塾の社会人教育機関である慶應丸の内シティキャンパス（慶應MCC）が運営し、全国にサテライト配信しています。

●開催時間　18:30～20:30（開場18:00）
●会　　場　岡山商科大学／7号館781教室
●受 講 料　1,200円

**7/8（木）**
早稲田大学政治経済学術院　教授
**若田部 昌澄**（わかたべ まさずみ）
**「危機の経済学」**

**7/20（火）**
京都大学大学院人間・環境学研究科 准教授
**小倉 紀蔵**（おぐら きぞう）
**「日中韓はひとつになれるか…文化・文明論的観点から」**

**7/27（火）**
評論家、麗澤大学比較文明文化研究センター 所長
**松本 健一**（まつもと　けんいち）
**「日本の青春時代とは、何か～『坂の上の雲』にふれて～」**

**■お申込み・お問合せ先**
●岡山商科大学社会総合研究所　TEL&FAX　086-256-6656

## オープンキャンパスで新たな発見!

今年度も下記の日程でオープンキャンパスを開催します。「体験授業」、「先輩とのフリートーキング」、「学部学科説明」、「AO入試エントリー」「学食無料体験」など盛りだくさんの内容で、皆さんをお待ちしています。
事前予約の必要はありません。

**〔日程〕7月17日（土）、7月31日（土）**
**8月28日（土）、9月25日（土）**
**〔時間〕11:00～16:00**
岡山駅西口から送迎バスを運行。
<お問い合わせ>入試部入試課（TEL086-256-6652）

## オフキャンパス・セミナーのご案内

**～ 出前講義:講師がお近くまで伺います!～**

**★申し込みができるのは**
30名以上の聴講生が見込める、岡山県内の公共・一般団体や企業等。

**★講座のメニューは**
本学ホームページをご参照いただくか、下記問いあわせ先にご連絡ください。
1講座2時間程度（質疑応答含む）の構成が、基本的なものです。

**★費用は**
講師料は無料です。
ただし、会場の手配・設営及び案内発送に係わる事務作業や費用は主催者側でお願いします。

**★申し込みは**
申込書に必要事項をご記入のうえ、「岡山商科大学社会総合研究所」までご提出ください。

実施期間　2010年10月1日～2011年2月28日
申込期間　2010年7月1日～ 8月31日

**～お問い合わせ先～**
岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601岡山市北区津島京町2－10－1
TEL／FAX　086-256-6656〔直通〕
E-mail　syaken@po.osu.ac.jp

## 岡山県生涯学習大学受講者募集

■講座名：現代市民社会と法
■現代市民社会に提起されている様々な法的諸問題について、歴史的経緯や文化的背景などふまえつつ、その基礎的な理論を分かりやすく解説した上で、今後の市民社会のあり方について考察します。
■申込期限：7月2日（金）まで

| 期　日 | 8月3日（火） | 8月4日（水） | 8月5日（木） | 8月6日（金） |
|---|---|---|---|---|
| 10：00～12：00 | 離婚法における有責主義から破綻主義への転換 | 経済法生成の歴史・独占禁止法の沿革 | 消費生活・契約と法 | 地方自治のグローバル化とこれからのわが国の地方分権の方向－補充制の原則の具体的な適用について |
| 会　場 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 |
| 講　師 | 法学部　講師<br>成澤　寛 | 法学部　講師<br>中山　秀木 | 法学部　講師<br>倉持　弘 | 法学部　教授<br>安宅　敬祐 |
| 13：00～15：00 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 会　場 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 講　師 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |

| 期　日 | 8月23日（月） | 8月24日（火） | 8月25日（水） | 8月26日（木） |
|---|---|---|---|---|
| 10：00～12：00 | 現代国家における法の構造と多様性 | 裁判員裁判のゆくえ<br>－陪審裁判との比較・運用一年を振り返る－ | 労働判例の最近の動向・両親の離婚と子の利益 | グローバル化社会の視点で見る日本の歴史 |
| 会　場 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 | 岡山商科大学 |
| 講　師 | 法学部　教授<br>青井　秀夫 | 法学部　講師<br>小浦　美保 | 法学部　教授<br>香山　忠志 | 法学部　講師<br>渡辺　渡 |
| 13：00～15：00 | 同上 | 同上 | 外国人の人権 | 同上 |
| 会　場 | 同上 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 講　師 | 同上 | 同上 | 法学部　教授<br>西浦　公 | 同上 |

※受講料　2,000円（8日間）
詳しくは、岡山商科大学社会総合研究所（TEL086-256-6656）までお問い合わせ下さい。

## 2011年度入試日程

**AO入試**
全学部　エントリー期間：7月1日（木）～2月4日（金）　試験場：本学
「岡山商科大学で学びたい」そんな君たちからのエントリーをお待ちしています。入試部：TEL086－256－6652

| | 試験区分 | | 学　部 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 試験会場 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 推薦入試 | 指定校推薦 | | 全学部 | 9月13日(月)～10月 1日(金) | 10月 9日(土) | 10月15日(金) | 本　学 |
| | 専門能力推薦 | | 全学部 | 9月13日(月)～10月 1日(金) | 10月10日(日) | 10月15日(金) | 本　学 |
| | 一般公募制推薦 | 前期 A日程 | 全学部 | 10月12日(火)～10月29日(金)<br>窓口受付:11月1日(月) | 11月 6日(土) | 11月12日(金) | 下記前期AB日程<br>試験会場参照 |
| | | 前期 B日程 | | | 11月 7日(日) | | |
| | | 後期 A日程 | | 11月 8日(月)～11月26日(金)<br>窓口受付:11月29日(月) | 12月 4日(土) | 12月10日(金) | 本　学 |
| | | 後期 B日程 | | | 12月 5日(日) | | |

〔一般公募制推薦入試 前期A・B日程 試験会場〕　本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一般入試 | 前期 | A日程 | 全学部 | 1月 4日(火)～ 1月21日(金)<br>窓口受付:1月24日(月) | 1月29日(土) | 2月 4日(金) | 下記前期AB日程<br>試験会場参照 |
| | | B日程 | | | 1月30日(日) | | |
| | 中期日程 | | | 1月24日(月)～ 2月10日(木)<br>窓口受付:2月14日(月) | 2月18日(金) | 2月25日(金) | 本　学 |
| | 後期日程 | | | 2月14日(月)～ 3月 4日(金)<br>窓口受付:3月7日(月) | 3月11日(金) | 3月18日(金) | 本　学 |

〔一般入試 前期A・B日程 試験会場〕　本学、広島、福山、松江、高松、松山、高知、小倉

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 大学入試センター試験利用入試 | 前期日程 | 全学部 | 1月 4日(火)～ 1月31日(月) | 個別試験は課さない | 2月10日(木) |
| | 中期日程 | | 2月 1日(火)～ 2月24日(木) | | 3月 4日(金) |
| | 後期日程 | | 2月28日(月)～ 3月10日(木) | | 3月18日(金) |

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで　E－Mail／gakuho@po.osu.ac.jp

©2010　岡山商科大学

発行所　岡山商科大学
〒700－8601岡山市北区津島京町2丁目10－1
電話（086）252－0642（代）
印刷　山陽印刷株式会社